

令和 6 年度
藤華医療事務専門学校
学校自己評価報告書
令和7年4月1日

令和7年3月17日(月) 令和6年度末 運営会議 学生・教職員アンケート(案)
令和7年3月19日(水) 令和6年度 学生・教職員アンケート実施
令和7年3月21日(金) 令和6年度末 職員会議 学校自己評価報告書(案)
令和7年3月28日(金) 令和6年度 学校自己評価報告書 学園本部提出

※教職員・学生アンケートと学校自己評価との連動基準

教職員・学生アンケート評価基準3.1～4.0 → 学校自己評価「4」

教職員・学生アンケート評価基準2.1～3.0 → 学校自己評価「3」

教職員・学生アンケート評価基準1.1～2.0 → 学校自己評価「2」

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン
(平成25年) 準拠

1. 学校の教育目標

1 教育目標

有徳の学園づくりの為、「建学の精神」・「教育方針」を踏まえ、修徳の精神を身に付け、即戦力として活躍できる医療事務のスペシャリストを育成する。また、今年の学園キーワードである「分別(ふんべつ)」を行動目標に掲げ、自他ともにお互いの人格を尊重する言動を実践できる人物を育成する。

2 重点指導目標

- (1) 基本的生活習慣を身に付け、行事を通じた徳育・情操教育の実践を充実させる
- (2) 即戦力として専門的な知識・技術を習得し、資格試験取得率100%を達成する
- (3) 教職員としての資質向上を図るとともに、常に危機意識を持ちチームとして学生募集に挑戦する
- (4) 正社員として就職率100%を堅持する(2023年度 100%達成)

3 具体的な対策

- (1) 「礼儀・感謝・奉仕」の心を養い、礼儀・作法の行動実践、整理整頓・清掃・マナーの徹底を図る。
- (2) 資格検定試験対策に計画的に取り組み、着実な合格に繋げる。
- (3) 教職員研修の充実を図り、学校ガイダンスやオープンキャンパス、学生募集訪問を通じて学校の良さを積極的にアピールする。
- (4) 接遇マナーに加え、専門知識を身に付け、即戦力と期待される医療事務のスペシャリストを育成する。

4 地域社会等との豊かな関係づくり

- (1) 県内の医療・福祉機関と連携し、地域に貢献できる人材の育成を図る。
- (2) 学校、関係機関・施設等との連携強化。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) (続)つぶやきいりょう(月刊)による徳育教育、ボランティア活動による心の教育。
- (2) 外部講師招へいによる医療概論(年7回)、基礎的な資格検定試験の100%合格達成。
- (3) 積極的な募集活動を展開し、志願者30名以上の学生確保を達成する。
- (4) ミスマッチのない就職指導を心がけ、正社員として就職率100%を達成する。
- (5) 教職員として、「分別」のある言動を実践し、自他尊重の明るい職場づくりを目指す。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は明確か。	4	3	2	1
・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	4	3	2	1
・学科の教育目標、育成人材像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	3	2	1

①課題

「学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか」について、ホームページ等では公開しているが周知が進んでいるか調査していない。

②今後の改善方策

・校舎内や掲示板に掲示し日常的に周知を行う。
・保護者へ学生便覧の送付を行う際に、保護者アンケート等を実施する。
・教職員の専門性をはじめとした資質向上対策に取組み、その成果を内部評価や学校関係者評価を通して、ホームページ等で公表していく。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(2) 学校運営

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4	3	2	1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	3	2	1

①課題

・「業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか」について、教職員間の意思疎通が円滑になるよう努めている。
 ・「情報システム化等による業務の効率化が図られているか」について、学生用の校内Wi-fiが整備されていないなどの課題が残っている。
 ・対外の医療機関との連携の充実には、現有の教職員数では限界がある。

②今後の改善方策

・教育課程編成委員会や関係機関との打合せの際に議題に取り上げ、開かれた学校を目指す。
 ・委員会活動を見直し、共有化の仕組みや業務効率を議案に取り上げ改善を図る。
 ・対外の医療機関との連携は、限られた人員で可能な方策を模索する。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(3) 教育活動

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	3	2	1	・本校の教育理念に基づき、関連業界とも連携しながら社会に役立つ人材の育成に向けて、実践的な職業教育を意識して教育課程の編成と実施が実行されている。 【教職員アンケート 質問14 2.8】
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	3	2	1	・教務規定に従い、成績評価や評定基準をはじめ、修業年限や学習時間、目標とする到達レベルが明確に示されている。 【教職員アンケート 質問15 2.6】
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1	・教育課程編成委員会等を通じて、体系的なカリキュラム編成を行っている。 【教職員アンケート 質問16 3.0】
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	3	2	1	・教育課程編成委員会等を通じてより実践に近い形で教育が行われるよう工夫に努めている。 【教職員アンケート 質問17 2.8】
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	4	3	2	1	・見学実習や医事実習を通して、産学連携による実践的な職業教育がなされている。 【教職員アンケート 質問18 3.2】
・授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	3	2	1	・前期と後期の終わりに、すべてのクラスで授業評価アンケートを実施し、アンケート結果を集計し、学校自己評価の評価材料としている。 【教職員アンケート 質問19 2.2】 【学生アンケート 質問1 3.1】
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4	3	2	1	・専門課程は、職業実践専門課程として認可を受けており、教育課程編成委員会および年2回の学園監査等の内部評価に加え、関係の医療機関などから外部評価を受けている。 【教職員アンケート 質問20 2.0】
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4	3	2	1	・学則および各種規程に基づき、成績評価、単位認定、進級判定、卒業判定の基準は明確にされている。 【教職員アンケート 質問21 2.8】
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1	・教育課程編成委員会等で検討する機会を設け、資格取得に関する指導体制、カリキュラムなどが体系的に位置付けられている。 【教職員アンケート 質問22 3.2】
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4	3	2	1	・必要な資格要件はもちろん、校外での研修機会を設け、実習指導や就職指導にも優れた教員を確保している。 【教職員アンケート 質問23 2.6】
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。	4	3	2	1	・教員の一部は、関連業界との連携を深め実践的な知識と技術を維持するように、現場見学も業務の中に組み込みながら、教育業務とのバランスをとっている。 ・関係医療機関とは、教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会などを通じて、定期的に現場と学校教員との意識や知識の共有を図っている。 【教職員アンケート 質問24 2.6】
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	4	3	2	1	・教員が関係する主要な学会や研修会に参加して、研鑽を積み取り組みをしている。また、新任教職員に対して、全般的な組織理解や指導力向上のための研修を実施している。 【教職員アンケート 質問25 2.2】
・職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4	3	2	1	・年に2回の全職員による教職員研修会に参加した。その他、高校現場での授業見学や教職員研修会に積極的に参加して、授業力向上に努めている。 【教職員アンケート 質問26 2.4】

①課題

- ・資格取得等に関する指導体制は確立できているが、成果に繋ぐことができていない。
- ・職業実践専門課程の認定に関する手続きの際に、十分な見直しが必要である。

②今後の改善方策

- ・資格取得に向けた内向的動機付けなど、低学年から指導体制を見直しし、学生毎に個別指導を実施していく。また、教育課程編成委員会を通して、実践的かつ専門的な職業教育を推進する。
- ・「教育活動充実のために」の全職員に情報共有を図る。
- ・職員会議等で提案された内容は、試行しながら、次の会議時にフィードバックを行う。

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(4) 学修成果

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

①課題

・卒後教育の機会確保はできておらず、卒業生への積極的な支援体制が十分でない。

②今後の改善方策

・卒後教育については、①研修②つながり作り③募集広報を狙いとして計画的に実施する。また、引き続き、広報募集媒体においても、卒業生の活躍を取り上げキャリア形成を促していく。
・より早期にキャリア形成をはじめ、資格(学習)と就職後を結びつける対策に取り組む。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(5) 学生支援

評価項目	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う体制はあるか。	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか。	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか。	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか。	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4	3	2	1

①課題

・学生の就職支援体制については改善している。一方で、早期離職や内定辞退など新たな課題が生まれており、就職先との連携が必要である。

②今後の改善方策

・実習依頼訪問にて意見交換を行い連携を図る。
・実技授業を臨床の現場に近似させ、学生生活全般において職業意識を植え付ける。
・卒業後の追跡調査を実施し、医療機関との連携を深める。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(6) 教育環境

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	3	2	1	・施設基準は満たしており、なおかつ教室および共有区域などのスペースを確保している。備品の一部には開校以来の物もあり、老朽化しつつあるものもあるが、教育上の支障がないよう、教職員が学生の力も借りながら積極的に備品管理を行っている。 【教職員アンケート 質問42 3.0】 【学生アンケート 質問16 3.0】
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	4	3	2	1	・関係機関の協力も得ながら、学外の必要な実習施設は確保できている。 【教職員アンケート 質問43 3.4】 【学生アンケート 質問17 3.1】
・防災に対する体制は整備されているか。	4	3	2	1	・防災訓練は、全校で年2回実施している。各設備の防災・防火責任者が定められており、毎年度、防災組織の見直しが図られている。 【教職員アンケート 質問44 3.4】 【学生アンケート 質問18 3.1】

①課題

自習スペースが確保できていない。

②今後の改善方策

自習スペースとして、場所の確保を行う。放課後の空き教室を使用し、施設の有効活用を行う。

③特記事項

3. 評価項目の達成及び取組状況

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				
・学生募集活動は、適正に行われているか。	4	3	2	1	高校新卒者の募集にあたって、入学試験を10月以降に実施している。総合型入試を含め、出願については県の専門学校各種学校連合会での取り決めに沿って実施している。その他、学生募集は適正に行われている。 【教職員アンケート 質問45 3.2】
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	3	2	1	学生募集活動において、卒業生の就職率、資格検定試験の合格率など、正確に伝えられている。 【教職員アンケート 質問46 3.2】
・学納金は妥当なものとなっているか。	4	3	2	1	本校の学納金は、同分野の他の学校の平均的な水準と比較し、低い水準に抑えられている。 【教職員アンケート 質問47 3.2】 【学生アンケート 質問19 2.9】

①課題

・「学納金が妥当なものになっているか」について、学生アンケートを実施したが、他校の情報収集が不十分で判断根拠が曖昧なため、評価が正確でない。

②今後の改善方策

・本校の学費その他必要経費(預り金)は他校と比較して相対的に安価であるが、学費に見合うサービスが十分だと学生の認識が不足しているため、教育効果について周知する取組みを始める。
・学生の採用者が急増している「国の高等教育修学支援新制度(無償化)」など、各種減免制度の表記も含めて、学納金の案内方法について随時見直しを行う。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(8) 財務

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	3	2	1
・財務について会計監査が適性に行われているか。	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4	3	2	1

・少子高齢化の中、入学者数の確保のため学科の教育内容の刷新を行うとともに、経費の圧縮等で財務基盤の安定化を図っている。
【教職員アンケート 質問48 2.8】

・予算作成に際して、理事長査定を実施し、適切な予算管理を行っている。
【教職員アンケート 質問49 3.0】

・年2回(6月、11月)内部監査を実施している。
【教職員アンケート 質問50 3.8】

・学園本部HPでの情報公開等しっかりと対応できている。
【教職員アンケート 質問51 3.4】

①課題

・入学者の減少が財務状況に直接かわるので、定員確保に向けさらなる努力を要する。

②今後の改善方策

・募集活動では、随時見直しを図り、新たなアクションを計画的に実行する。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				
・法令, 専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4	3	2	1	・学校教育法, 養成施設指定規則等の法令に従った適正な運営がなされており, 申請書, 届出書, 学校運営に係る記録等は確実に保管されている。国や県の監督部署の指導調査で指摘された事項も改善されている。 【教職員アンケート 質問52 3.4】
・個人情報に関し, その保護のための対策がとられているか。	4	3	2	1	・学生個人調書等の個人記録は施錠できるキャビネットに保管して部外者のアクセスを防止すると共に, 情報の持ち出しを禁じている。全職員を通じて, 個人情報管理意識の向上に努めている。 【教職員アンケート 質問53 3.0】 【学生アンケート 質問20 3.0】
・自己評価の実施と問題点の改善を図っているか。	4	3	2	1	・学校自己評価委員会の下, 各項目に対して, 自己評価を実施し, 学科でそれぞれの問題点を具体的に把握し, 内部監査等を通じて, 点検と改善を推進している。 【教職員アンケート 質問54 2.4】
・自己評価結果を公開しているか。	4	3	2	1	・自己評価結果は学校ホームページ上で公開している。 【教職員アンケート 質問55 2.8】

①課題

・個人情報のセキュリティについて課題が残る。

②今後の改善方策

・個人情報保護について再度必要性及び制度の趣旨を周知し管理していく。
・担当者研修を継続して行い, 基本となる法制度の理解を日々の業務とつなげていく。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか。	4	3	2	1

①課題

・教職員学生ともにボランティア意識は高い。しかし、活動は個人に限られており、今後はさらに学校として一体となった活動ができるかが課題である。

②今後の改善方策

・活動人数を増やし、参加しやすい環境づくりを行う。
・外部施設や企業と連携し、ボランティアやトレーナー活動の充実を図る。

③特記事項

3. 評価項目の達成及び取組状況

(11) 国際交流

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1				
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか。	4	3	2	1	・現在、外国人留学生の受入れは実施できていないが、要請があれば受け入れる準備ができている。 【教職員アンケート 質問59 1.6】
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	4	3	2	1	・現在、外国人留学生の受入れは実施できていないが、要請があれば受け入れる準備ができている。 【教職員アンケート 質問60 1.6】
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。	4	3	2	1	・現在、外国人留学生の受入れは実施できていないが、要請があれば受け入れる準備ができている。
・学習成果が国内外で評価される取組を取っているか。	4	3	2	1	・現在、外国人留学生の受入れは実施できていないが、要請があれば受け入れる準備ができている。

①課題

・現在、外国人留学生の受入れは実施できていない。要請があれば受け入れる準備ができているとしているが、あくまでも想定であり、実際の受け入れ態勢づくりが課題である。

②今後の改善方策

特になし

③特記事項

特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和6年度重点目標に対する総括

- (1) 基本的生活習慣を身に付け、行事を通じた徳育・情操教育の実践を充実させる
- ① 全校集会(毎月始め)時では必ず徳育教育に関わる話を導入
 - ② (続)つばやきりょう(月刊紙)の発刊による心の教育の継続 <別添資料>
 - ③ 「礼儀・感謝・奉仕」の日常的指導
 - (ア) HRや授業を通じて校内マナー指導(挨拶の質の向上を図る)
 - (イ) 見学や校外実習終了時、就職内定時のお礼状の送付・訪問指導
 - (ウ) ボランティア活動
 - ・ 全校生で美化ボランティア…校舎周辺の雑草取り(前期5/9実施)
 - 各学年(前期2年生 5/20・6/25)+各学年(後期1年生 9/3・10/3)
 - ・ 年間を通してペットボトルキャップ(14年継続)、エンブリオ基金(11年継続)
 - (エ) 年7回ある外部講師招へい講演会や施設見学時の謝辞を学生にて実施
 - (オ) 感謝の気持ちを意識させるため毎日全員で清掃を実施
- (2) 即戦力として専門的な知識・技術を習得し、資格試験取得率100%を達成する
- ① 診療報酬請求事務能力認定試験 …取得率 54.2%
 - ② 医療秘書技能検定 2級 …取得率 70.8% 3級 …取得率 91.7%
 - ③ 医事コンピュータ技能検定 2級 …取得率 100% 3級 …取得率 100%
 - ④ 電子カルテ検定 …取得率 100%
 - ⑤ 医療事務管理士 …取得率 100%
 - ⑥ 歯科事務管理士 …取得率 100%
 - ⑦ 介護事務管理士 …取得率 95.2%
 - ⑧ 調剤事務管理士 …取得率 100%
 - ⑨ CS技能評価試験 ワープロ3級 …取得率 100% 表計算3級 …取得率 100%
 - ⑩ 秘書検定 2級 …取得率 78.3% 3級 …取得率 100%
- (3) 教職員としての資質向上を図るとともに、常に危機意識を持ちチームとして学生募集に挑戦する
- ① 【本年度の目標】
 - 志願者30名確保(指定校推薦9名+楊志館特別推薦8名+高専一貫 13名 計30名)
 - ↓
 - 志願者31名 内訳(総合型選抜1名+指定校推薦9名+楊志館高校[特別推薦7名+高専一貫生14名])
 - ② オープンキャンパスの参加者減の対策やリピーター獲得に向けての工夫と改善
 - ・ 配布資料のデザインや校内の掲示物増など毎回の実施内容に変化をつけ、4つの医療分野から精選して実施。
 - ・ HPやSNSによる情報発信と学生を主体とした学校紹介や体験談など活動内容に工夫を加え実施。
 - ・ 参加者からは、保護者も含め好印象を持ったとの感想が多く寄せられた。
 - ③ 高校募集訪問における工夫と改善
 - ・ 事前のアポイントメントを欠かさず、OC参加者の具体的な志望先を尋ねるなどポイントを絞った面談。
 - ・ 進学ガイダンス参加者と資料請求者一覧表を持参し、情報収集。
 - ④ 楊志館高校の進路指導室及び3学年部との連携強化
 - ・ 5/9(木)設置専門学校・楊志館高校進路指導連絡会
 - ・ 7/17(水)専門学校・楊志館高校 高専一貫担当者会議
 - ・ 9/13(金)高専一貫教育連絡会(進路指導室長、コース長) ※楊志館高校の先生方との連携強化(頻繁な情報交換)
- (4) 正社員として就職率100%を堅持する(2023年度 100%達成)
- ① 就職状況☒ …内定26名(3/28現在) 内定率…100%(26/26) ◎大分赤十字病院に1名内定(募集倍率4倍)
 - ② 就職支援事業 …ハローワーク支援事業…年2回(1/15、3/14)

藤華医療事務専門学校 学生アンケート(学校自己評価)

質 問 項 目	評価
【教育活動】Q1:授業評価の実施・評価制度(授業評価アンケート)が適切に実施されていると思いますか？	3.1
【学修成果】Q2:就職率は毎年100%を維持していますが、就職率を上げるための取組が適切になされていると思いますか？	3.2
【学修成果】Q3:資格検定試験の取得率100%を目指していますが、取得率を上げるための取組が適切になされていると思いますか？	3.2
【学修成果】Q4:学校に来ることができない学生やその家族に対して、面談などの機会を適切に設けていると思いますか？	3.0
【学修成果】Q5:卒業生や在校生が社会的に活躍していることを知る機会が適切に提供されていると思いますか？	2.8
【学修成果】Q6:卒業後の「自分の将来像」を描くことのできる機会(実習や体験学習など)が適切に設けられていると思いますか？	3.1
【学生支援】Q7:就職や進学に対して、ハローワークや外部の機関による就職説明会など、就職・進学支援に適切に取り組んでいると思いますか？	3.1
【学生支援】Q8:悩みを抱える学生に対する相談窓口などの設置に適切に取り組んでいると思いますか？	2.7
【学生支援】Q9:経済的な支援が必要な学生に対して、奨学金制度や授業料減免制度などの支援体制づくりに適切に取り組んでいると思いますか？	3.1
【学生支援】Q10:定期的な健康診断などを通じて、学生の健康管理を適切に行っていると思いますか？	3.0
【学生支援】Q11:課外活動などの支援が適切になされていると思いますか？	2.8
【学生支援】Q12:学生の生活環境(学生寮やアパートの紹介など)の支援が適切になされていると思いますか？	2.9
【学生支援】Q13:保護者との連携(面談や説明会)が適切になされていると思いますか？	3.0
【学生支援】Q14:卒業生に対する就職や転職の相談窓口設置などの支援が適切になされていると思いますか？	2.9
【学生支援】Q15:社会人のニーズ(リスケリング＝学びなおし)に対応した支援に適切に取り組んでいると思いますか？	2.8
【教育環境】Q16:教室や共有スペースなどの教育上必要な施設・設備が整備されていると思いますか？	3.0
【教育環境】Q17:学内外の実習機会の確保やインターンシップ制度など十分な教育体制が整備されていると思いますか？	3.1
【教育環境】Q18:防災訓練などの実施や非常事態に対して必要な組織や体制が整備されていると思いますか？	3.1
【学生の受入れ募集】Q19:学納金は、同じ医療事務の他の学校と比較して妥当な金額が設定されており、分納などの配慮がされていると思いますか？	2.9
【法令等の遵守】Q20:個人情報保護の対策が十分に整備されていると思いますか？	3.0
【社会貢献・地域貢献】Q21:学生のボランティア活動などを奨励し、活動を支援する取組がなされていると思いますか？	3.2
本校の教育活動や学生支援の状況等について、意見・要望などがあれば記入してください！ 制服が風が吹くとめくれやすく、シワがつきやすいので改善して欲しいです 制服のシワが気になる。実習中、2回ほどアイロンがけをしたがすぐにシワになって恥ずかしかった。 制服のシワが気になる。私服にして欲しい。スカート動きにくい。 きちんと学校に来ている人と、来ていない人との扱いがおかしいと思います。	

藤華医療事務専門学校 教職員アンケート(学校自己評価)

質 問 項 目	評価
【教育理念・目標】1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか)	3.2
【教育理念・目標】2 学校における職業教育の特色は明確か。	3.2
【教育理念・目標】3 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか。	2.8
【教育理念・目標】4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	3.0
【教育理念・目標】5 学科の教育目標、育成人材像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	2.8
【教育活動】①課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
②教職員の専門性をはじめとした資質向上	
【学校経営】6 目的等に沿った運営方針が策定されているか。	3.2
【学校経営】7 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	2.6
【学校経営】8 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	3.2
【学校経営】9 人事、給与に関する規定等は整備されているか。	3.0
【学校経営】10 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3.0
【学校経営】11 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	2.8
【学校経営】12 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3.2
【学校経営】13 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	2.8
【学校経営】①課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
①対外なり医療機関との連携の充実には人員不足	
【教育活動】14 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	2.8
【教育活動】15 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	2.6
【教育活動】16 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	3.0
【教育活動】17 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	2.8
【教育活動】18 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	3.2
【教育活動】19 授業評価の実施・評価体制はあるか。	2.2
【教育活動】20 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	2.0
【教育活動】21 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	2.8
【教育活動】22 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3.2
【教育活動】23 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	2.6
【教育活動】24 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。	2.6
【教育活動】25 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	2.2
【教育活動】26 職員的能力開発のための研修等が行われているか。	2.4
「教育活動充実のために」の全職員の共有が必要	
【教育活動】①課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
【学修成果】27 就職率の向上が図られているか。	3.2
【学修成果】28 資格取得率の向上が図られているか。	2.6
【学修成果】29 退学率の低減が図られているか。	3.0
【学修成果】30 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	2.6
【学修成果】31 ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校のエデュケーションの改善に活用されているか。	3.4
【学修成果】①課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
より早期にキャリア形成をはじめ、資格(学習)と就職後を結びつけることが必要	
【学生支援】32 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	3.6
【学生支援】33 学生相談に関する体制は整備されているか。	2.4
【学生支援】34 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3.2
【学生支援】35 学生の健康管理を担う体制はあるか。	2.6
【学生支援】36 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	2.6
【学生支援】37 学生の生活環境への支援は行われているか。	3.2
【学生支援】38 保護者と適切に連携しているか。	3.2
【学生支援】39 卒業生への支援体制はあるか。	3.2
【学生支援】40 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	2.2
【学生支援】41 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	3.0
【学生支援】①課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
卒業後の追跡調査が徹底できれば、医療機関との連携も深まる	
【教育環境】42 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3.0
【教育環境】43 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	3.4
【教育環境】44 防災に対する体制は整備されているか。	3.4
【教育環境】①課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
【学生の受入れ募集】45 学生募集活動は、適正に行われているか。	3.2
【学生の受入れ募集】46 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3.2
【学生の受入れ募集】47 学納金は妥当なものとなっているか。	3.2
【学生の受入れ募集】①課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	

【財務】48 中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	2.8
【財務】49 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3.0
【財務】50 財務について会計監査が適性に行われているか。	3.8
【財務】51 財務情報公開の体制整備はできているか。	3.4
【財務】①課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
【法令等の遵守】52 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3.4
【法令等の遵守】53 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3.0
【法令等の遵守】54 自己評価の実施と問題点の改善を図っているか。	2.4
【法令等の遵守】55 自己評価結果を公開しているか。	2.8
【法令等の遵守】①課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
【社会貢献・地域貢献】56 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3.2
【社会貢献・地域貢献】57 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	2.8
【社会貢献・地域貢献】58 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。	2.4
【社会貢献・地域貢献】①課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
【国際交流】59 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか。	1.6
【国際交流】60 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	1.6
【国際交流】①課題 ②今後の改善方策 ③特記事項	
日本語力の高い留学生も多くなってきており、介護や看護分野以外の事務においてもいずれは窓口をはじめ需要の出る可能性は秘めている	

藤華医療事務専門学校

2025年度 第1回学校関係者評価委員会 報告書

1. 日 時 2025年5月29日（木） 15:20～16:50

2. 場 所 藤華医療事務専門学校 校長室

3. 出席者 委員名は省略

4. 次 第

(1) 学校長挨拶

(2) 委員紹介

(3) 2025年度学校関係者評価委員会について

- ・学校関係者評価細則の委員会の目的や役割等の確認を行う。
- ・本校学生及び教職員の学校自己評価について、アンケート結果の説明を行い、それに対する各委員からの質疑応答という形式で審議が進められた。

(4) 意見交換

○学校自己評価

- ・学生と教職員のアンケート項目を分けて学校自己評価している。学校運営全般については、教職員のアンケートを中心に4段階で評価しているが、日頃からよく実践できていると思われる分野の評価が低いものもある。よく出来ていることについては、高い評価をしても良いのではないか。
- ・他国と比較すると、自己肯定感の低さが日本人の特徴であるとも言われている。評価アンケートにもそのあたりが表れている。無難な平均点付近の評価では、十分に検討した評価とは言えない。高い評価から出来ていない部分を減ずるといった評価の仕方もあってよい。

○卒業生からの情報収集

- ・本校を卒業し現場で活躍するOBたちが、専門学校時代に学んでことが現場で役に立っているという具体的な情報を入手することも大切ではないか。病院の受付では、高齢者はもちろん、障害を抱えた人や外国籍の人たちも目立つようになってきているので、簡単な手話や日常会話程度の英会話なども必要なスキルとなっているように感じる。
- ・資格取得については、数の多さを目指すのではなく、どの資格取得が現場で有効なのか把握しておくことは大切なことである。そのようなアンケートも実施したらどうか。

○学生支援・学生募集

- ・中学校や高校で、同じ教室で授業を受けられない学生のためのオンライン授業などが行われている。専門学校でも、積極的に取り入れていくことを検討すべきではないか。学生募集のためにも求められている施策である。

○保護者との連携強化

- ・学校評価を高める要因の一つとして、保護者との連携が大切である。様々な学生の学校での状況が分かるように、データを整理して一元化した情報提供ができるように工夫し、学校行事等を利用して、学校に来てもらう回数を増やすことを検討して欲しい。

○高校との連携

- ・本校は、医療事務の学校なので、高校のコース再編の影響を大きく受けることが予想される。早めの具体的な対策をしていくことが重要である。

藤華医療事務専門学校 学校自己評価(評価①)と学校関係者評価(評価②)の比較表

質 問 項 目	評価①	評価②
【教育理念・目標】1 学校の理念・目的・育人人材像は定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか)	4	4
【教育理念・目標】2 学校における職業教育の特色は明確か。	4	4
【教育理念・目標】3 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3	4
【教育理念・目標】4 学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	3	3
【教育理念・目標】5 学科の教育目標、育人人材像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3	4
【学校経営】6 目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	4
【学校経営】7 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3	4
【学校経営】8 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4	3
【学校経営】9 人事、給与に関する規定等は整備されているか。	3	4
【学校経営】10 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3	4
【学校経営】11 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3	4
【学校経営】12 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	3
【学校経営】13 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3	3
【教育活動】14 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3	3
【教育活動】15 教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3	4
【教育活動】16 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	3	4
【教育活動】17 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3	4
【教育活動】18 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	4	3
【教育活動】19 授業評価の実施・評価体制はあるか。	3	3
【教育活動】20 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	2	3
【教育活動】21 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3	4
【教育活動】22 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	4
【教育活動】23 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3	3
【教育活動】24 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。	3	3
【教育活動】25 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3	3
【教育活動】26 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3	3
【学修成果】27 就職率の向上が図られているか。	4	4
【学修成果】28 資格取得率の向上が図られているか。	3	3
【学修成果】29 退学率の低減が図られているか。	3	4
【学修成果】30 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	3	3
【学修成果】31 ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	4

【学生支援】32 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	4
【学生支援】33 学生相談に関する体制は整備されているか。	3	4
【学生支援】34 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	4
【学生支援】35 学生の健康管理を担う体制はあるか。	3	4
【学生支援】36 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3	3
【学生支援】37 学生の生活環境への支援は行われているか。	4	4
【学生支援】38 保護者と適切に連携しているか。	4	3
【学生支援】39 卒業生への支援体制はあるか。	4	3
【学生支援】40 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3	3
【学生支援】41 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	3	3
【教育環境】42 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3	4
【教育環境】43 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	4	4
【教育環境】44 防災に対する体制は整備されているか。	4	4
【学生の受入れ募集】45 学生募集活動は、適正に行われているか。	4	4
【学生の受入れ募集】46 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	4
【学生の受入れ募集】47 学納金は妥当なものとなっているか。	4	4
【財務】48 中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	3	4
【財務】49 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3	4
【財務】50 財務について会計監査が適性に行われているか。	4	4
【財務】51 財務情報公開の体制整備はできているか。	4	4
【法令等の遵守】52 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4	4
【法令等の遵守】53 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3	3
【法令等の遵守】54 自己評価の実施と問題点の改善を図っているか。	3	3
【法令等の遵守】55 自己評価結果を公開しているか。	3	3
【社会貢献・地域貢献】56 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	4
【社会貢献・地域貢献】57 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	3	4
【社会貢献・地域貢献】58 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。	3	3
【国際交流】59 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか。	2	3
【国際交流】60 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	2	3
【国際交流】61 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。	2	3
【国際交流】62 学習成果が国内外で評価される取組を取っているか。	2	3
平均	3.3	3.6